

# 平成25年度 町政執行方針

3月11日から開催された町議会第1回定例会において、川代町長が、平成25年度の町政執行方針と予算編成概要を述べましたので、お知らせします。



私は、町長に就任して以来、農業、漁業の振興を始め、福祉、教育などの充実を図りながら「安心と活力ある八雲町」実現のため、その職務に全身全霊を傾けてまいりました。

この間、議会を始め、町民皆様から貴重なご意見、ご提言、ご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

また、本年は2期目の総括の年となりますので、残された任期は与えられた使命と責任の重さを今一度認識し、まちづくりの全力で邁進する覚悟であります。

さて、昨年12月の衆議院議員総選挙の結果、3年3ヶ月余り続いた民主党政権から自民・公明両党の連

立政権に交代し、第2次安倍内閣が発足しました。

新政権は、「危機突破内閣」と名付け、当面の最重要課題に経済再生と東日本大震災からの復興を掲げております。

また、「大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の三本の矢で経済政策を力強く進める」とこととてい

しかし、新政権のこれら方針が、今後日本経済や自治体運営にどのような影響を及ぼすかは予測しがたい状況にあります。加えて国の新年度予算の成立が大き

くずれ込む見通しであることから、その動向を注視しつつも迅速な情報収集に努め、適正な事務の執行に努めてまいります。

平成24年度は新八雲町総合計画の中間年であることから、基本計画の内容が八雲町を取り巻く情勢や町民ニーズに適合しているか等

について見直しのため、八雲町総合開発委員会や議会、町民皆様からご意見、ご提言をいただき、新たな後期基本計画を3月下旬を目途に答申を受け、作業を完了させる予定であります。

厳しい財政見通しが今後も続くことが予測されますが、引き続き行財政改革を進め「ステップ・アッププラン新八雲町総合計画」の実現に取り組んでまいります。

噴火湾パノラマパークへの入込客の増加や平成27年度（2015年度）に迫った北海道新幹線の新函館駅（仮称）開業は、観光と物を軸とした新たな産業振興において大きなチャンスとして期待されます。

八雲町としてこの好機を逃がすことなく交流人口の拡大による新しいまちづくりを進めるために、その拠点施設としての「情報交流物産館」の整備を始め、豊かな自然と恵まれた資源を活かした八雲町の魅力の再構築を町を挙げて展開してまいります。

町民皆様が安心して生活していくために地域医療の充実が重要でありますので、両病院の経営改善を図りながら町民の皆様に信頼される医療を提供し、親しまれる病院づくりを進めてまいります。

八雲総合病院は、北海道の災害拠点指定病院として必要な耐震性を確保するため、国の医療施設耐震化臨時特例交付金を活用して新年度に本館棟の全面改築に着手いたします。

また、熊石国保病院は内科医師の補充が決まり、2人体制の診療が再開されることになりました。

引き続き町民皆様の健康を守るため、両病院の環境整備を図ってまいります。

八雲町はまだ解決しなればならない課題も抱えています。厳しい現実を乗り越えて八雲町の未来の扉を開けるのは、私たち一人ひとりで。町を発展させるのは、私たちの世代の責任です。未来の八雲町のため、子や孫の世代のため、より活力のある町の実現を目指してまいりますので、